

観光コンテンツの紹介

県では地域の観光資源を発掘し、地域ならではの体験メニューを作り育てる活動を応援しています。

北のフルーツパーラー

とりたてフルーツでマイスイーツづくり

「達者村」は、「あおもりツーリズム」のモデル事業で、「友だち」遊ばせ、農産物をキャッチフレーズに、平成16年10月9日に名川町(現南部町)にバーチャルビレッジ(擬似農村)として開村しました。

果樹栽培が盛んで、北国でありながら四季を通じてフルーツ収穫が可能な恵まれた地域の達者村には、いつ来ても何か体験できるように、各種農業体験メニューが用意されています。最近では、フルーツの収穫体験とスイーツ作り体験を組み合わせた「北のフルーツパーラー」という新しい取り組みもスタートしました。

昨年の夏と秋には、旬の桃やぶどうを収穫して、新郷村産アイスクリーム、蕎麦や麦かけのフレックなど、郷土の素材をトッピングした地産地消のマイパフェづくりを行いました。

参加者は、「地元産フルーツを使ったパフェ作りは、とても贅沢な体験だった」「完熟フルーツのおいしさに感激した」と大喜びでした。

また冬場から春にかけては、「収穫したイチゴで大福作り」を行いました。摘みたてのみずみずしいイチゴで作るイチゴ大福のおいしさは格別で、また家庭でも簡単にできるレシピなので、自宅でも作ってみたいと大好評でした。

今後旬のフルーツを使った様々なスイーツ作りを企画していく予定です。



http://www.nanbu.net.pref.aomori.jp/tassya-mura/



「北のフルーツパーラー」概要

果樹栽培に適した気候で、1年を通じて様々な果物が旬を迎える南部町。町内の農園でフルーツ狩り体験をした後、収穫したフルーツや地域で生産された果物のみを使用したオンリーワンのスイーツ(パフェ等)づくりをお楽しみいただけます。

【収穫予定フルーツ】
6月中旬～7月中旬 さくらんぼ、ウメ
8月中旬～9月中旬 桃、プラム
9月中旬～10月中旬 ぶどう
10月～11月 りんご、ブルーベリー など

料金 2,000円～
(1名様からOK。要予約)

お問い合わせ先 南部町農林漁業体験実習館
チェリウス
TEL 0178-76-1001



とりたてぶどうで作ったマイパフェ

四季を通じたフルーツ収穫

- 春
- いちご (1月中旬～6月下旬)
- さくらんぼ (6月中旬～7月下旬)
- 梅 (6月下旬～7月下旬)
- ブルーベリー (7月中旬～8月中旬)
- プラム (7月中旬～9月下旬)
- 桃 (8月上旬～9月中旬)
- 梨 (8月中旬～10月中旬)
- りんご (9月上旬～11月中旬)
- ブルーベリー (9月中旬～10月上旬)
- ゼネラル・レクラク (9月中旬～10月上旬)
- ぶどう (9月中旬～10月中旬)
- 柿 (11月上旬～12月上旬)
- 冬
- いちご (1月中旬～6月下旬)



観光企画課 ☎017-734-9389

県では、県民のチャレンジ精神あふれる「生業」づくりを応援しています。

Vol.6 生業づくりへのチャレンジ

中南部地域編



デザイン×伝統工芸

津軽の伝統工芸とクラフト

弘前市を中心とする中南部地域には、古くから受け継がれてきた、たくさん伝統工芸があります。津軽塗、こぎん刺はその代表例です。また、伝統工芸のほかにも、ブナコ、りんご草木染といった、地域資源を活かした優れたクラフトがあります。

新たなロングセラーを生む

伝統工芸にモダンなデザインを取り入れ、従来とは異なるスタイルの商品を開発するプロジェクトが、全国各地で展開されています。

中南部地域民局では、新たなデザインによる津軽の伝統工芸やクラフトの開発支援を行っています。昨年11月から今年1月にかけてデザインアイデアを募集したところ、地域の皆さんをはじめ、県内外の幅広い年代の方から合計142点の応募がありました。

審査会では、売り手、作り手、使い手、デザイナーそれぞれの代表者が話し合い、最優秀作品1点、優秀作品6点、佳作6点を選出しました。最優秀作品と優秀作品は、地域の関係者と連携して試作し、商品化に向けた取り組みを進めていきます。

伝統と現代感覚を調和させた商品は、新たなロングセラーとなる可能性を秘めています。現代の住居環境やライフスタイルに合った、新たな伝統

工芸やクラフトを、地域のみならず、県外、海外にも積極的に発信していきます。



未来の担い手たち

後継者育成のきっかけづくりとして、地域の高校生や大学生を対象に「津軽伝統工芸+Craftサマースクール」と題した制作体験実習を行っています。これは、学校の夏休み5日間程度を利用して、津軽焼、津軽裂織、あけび蔓細工、津軽打刃物、ブナコ、藍染など、各分野の職人が直接指導を行い、若い世代に技術や魅力を伝えるものです。

魅力的な新商品を開発すると同時に、技術を次世代に継承していくことは、生業づくりにつながります。

これからも、津軽の伝統工芸やクラフトの魅力を最大限引き出すことにより、地域の皆さんと共に、産業を盛り上げていきます。

未来への挑戦

2009-2013

情熱あふれるふるさと青森づくり

※生業(なりわい)とは 本来、「生計を立てていくための仕事」という意味ですが、基本計画では、「県民一人ひとりの経済的基盤」という新たな意味を加え、生業(なりわい)づくりにチャレンジしていくこととしています。